

肥後医育振興会に期待する



菊池郡市医師会 会長

柴田堅一郎

肥後医育振興会は医療の向上と健康増進、医学教育・研究の助成、地域に即応する医療水準の向上と県民の健康増進、地域医療体制の充実強化を目的として、平成八年五月に公益法人として設立され、その後の活動は県民に対する医学の啓蒙として肥後医育塾の開催、若い研究者や留学生への研究助成、学会開催への助成などでよく知られているところだ。

日本は超高齢化社会に突入し、様々な問題をかかえることになりました。医学的には高齢化に伴う疾病の増加はもとより、認知症患者の増加、平均寿命と健康寿命の差の問題、社会的には一人世帯の増加などがあります。また医学の進歩に伴い多くの人が救われていますが、一方多死社会になり終末期医療も含めて全人的かつ包括的医療が求められる時代になりました。いかにして人生を健康にすごし終末を迎えられるかなどについても、肥後医育塾などで展開していただきたいと思います。

医学の教育や研究には本来なら国が十分予算を付けるべきと思いますが先細りしている現在、若い研究者や留学生が賞を受けることは今後の研究の励みになると思います。今後も助成を続けていただきたいと思います。お願いすると同時に、貧者の一灯をひろめなければとの思いも強く持ちました。

私が所属しています菊池郡市医師会は菊池市、合志市、大津町、菊陽町の二市二町の医師により構成されています。その歴史は古く、平成二十二年に「菊池郡市医師会百年史」菊池衛生兼医事会から「二五年」を発売してから十年経ちました。なかでも肥後医育と関連あることを百年史編纂委員長の井上俊輔先生が次のように書いています。「全国最古の医育機関である藩校再春館の初代師役（学長兼教授）の村井見朴をはじめとし、師役の十九名中八名が菊池出身者で再春館における先進的な医学教育の中核を占める人材を多く輩出した。このよ

うな土地柄であることから菊池郡市医師会は肥後医育精神及び菊池文教精神を受け継ぐ医師会である。」この伝統を引き継いで地域住民の為に尽くしていかなければと思っています。

また先輩がたのなみなみならぬ努力で、昭和三十五年准看護師養成のための看護学校を設立、昭和四十年開放型病院を設立、幾多の苦難を乗り越えて、医師会員とともに地域医療を担っています。

人がいるかぎり医療は必要ですが、少子高齢化の三十年後にどのような形態になっているのか見通せません。賢人会議を開いて三十年後を予測していただかせませんか。

実務実習と新人教育から始まる薬剤師教育



公益社団法人熊本県薬剤師会 会長

富永 孝治

公益財団法人肥後医育振興会におかれましては、医学教育の発展や研究支援、地域医療の向上と県民の健康増進の普及にご尽力されておりことに深く敬意を表します。

平成三十一年二月より公益社団法人熊本県薬剤師会会長に就任いたしました富永です。どうぞよろしくお願いたします。

薬学教育六年制導入から十年以上が経過し、本年から新しい改訂コアカリキュラムに準拠した長期実務実習が開始されています。熊本県薬剤師会では昨年度までに延べ二四四名の薬学生を受け入れ実務実習を実施し、薬学教育の一翼を担ってきました。

私は、薬剤師としての研鑽はこの実務実習から始まるものだと考えています。薬学六年制の核である長期実務実習は、臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的として始まりました。このことには薬学生が薬剤師国家資格を取得した後、速やかに現場で活躍する期待が込められています。

薬局での実習は日本薬剤師会及び当会が作成した実務実習支援教材で行っていますが、その内容はマナー・身だしなみから始まり、来局者への気配りや挨拶の仕方など進むよう構成されています。これはまさに患者対応における入社時の新人薬剤師教育にほかなりません。新人薬剤師の教育も実務実習内容の確認から始まり、その成果に応じ

て仕事内容をステップアップすることが大切です。新しい改訂コアカリキュラムに準拠した実習プログラムでも具体的な概略評価が示されています。これからの実務実習や新人教育は、指導薬剤師とこの概略評価を確認しながら進めることとなるでしょう。また、薬剤師会ではインシデントが発生したら、インシデントレポートによる報告を求めています。インシデントは速やかに報告され、職員間で共有された後に対策が練られるとともに、薬局内の研修会で事例を発表し、他の薬局と共有するようにしています。

そもそも医療人である薬剤師は医療安全についてはもちろん、薬学や医療の進歩に遅れないよう研鑽し続けることが必要であり、薬剤師会などが開催する研修会や事業、在宅支援や学校薬剤師活動など、自らの資質を向上するための場は数多くあります。これらを通じて社会で活躍し、先輩や同僚そして多職種と切磋琢磨し、質の高い医療人を目指してほしいと思います。

熊本県薬剤師会といたしましても、薬剤師が医薬品の供給だけでなく、地域住民の健康相談となり、保健衛生の普及向上に貢献できるよう支援して参ります。

これからの肥後医育振興会のご活動に期待するとともに、なお一層のご理解、ご支援のほどお願いいたします。